

中医協概要報告(2022年7月20日開催) (第187回薬価専門部会、第524回総会)

厚生省は7月20日、中医協(薬価専門部会、総会)をオンラインにて開催した。薬価専門部会では、令和4年度薬価調査についてが議題となり、令和5年度に予定する「中間年改定」に向けた薬価調査について、令和2年度調査と同様の内容で実施すること等が了承された。総会では、医療機器の保険適用、費用対効果評価専門組織からの報告、先進医療会議からの報告、薬価専門部会からの報告が議題とされ、全て提案通り了承された。

今回の中医協では、新型コロナウイルス感染症の特例等の関連の議題はなかった。

薬価専門部会

薬価専門部会では、「令和4年度医薬品価格調査(薬価調査)について」が議題とされ、事務局より論点として、①令和5年度の薬価中間年改定に向けた本年度の薬価調査の実施方法については、別紙のとおり、令和2年度の薬価調査(通常の改定年度の前年に実施する薬価調査よりも抽出率を絞って行う形)と同様とすることとしてはどうか。②また、薬価調査を踏まえた薬価改定の具体的な内容については、まずは薬価専門部会において議論した上で、総会に報告することとしてはどうか—の2点が提案された。

議論では、両側とも提案に了承しつつも、診療側からは、医薬品の供給不安定の状況が解消されていないため、慎重・丁寧な議論を行うよう要望が出された。また有澤賢二委員(日本薬剤師会常務理事)は、「令和3年の中間年改定が、現場の薬局や医療機関、そして医薬品市場、製薬メーカー、卸などにどのような影響を与えているかを把握しながら、どの範囲を対象とするのか、どのルールを適用するのかについて、慎重な議論が必要」と指摘した。支払側の松本真人委員(健康保険組合連合会理事)は、「中医協以外でも薬価制度について様々議論されることと承知しているが、最終的に中医協が決めるようにすべきだ」と述べ、「外圧」に対して牽制した。

総会

医療機器の保険適用では、区分C1(新機能)として2件、区分C2(新機能・新技術)として1件の提案があり了承。費用対効果評価専門組織から、2型糖尿病に効果効果を持つ「リベルサス錠」の費用対効果評価案が提案され、了承された。先進医療会議からの報告では、先進医療Aとして「子宮内フローラ検査」、先進医療Bとして「慢性膵炎等に対する膵全摘術に伴う自家膵島移植」が報告された。最後に薬価専門部会からの報告があり、議論なく了承された。

以上

配布された資料は、保団連情報共有スペース「社保・審査対策」の「社保/審議会等」にて公開しておりますので、併せてご覧下さい。また、厚生労働省HPでも公開されています。

第187回薬価専門部会 https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212451_00049.html

第524回総会 https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500_00155.html

<会内使用以外の無断転載禁止>